



小野田商工会議所会報

The Onoda Chamber of Commerce & Industry News

商工おのた'

8

NO. 878

2026



・ラジオ6月放送回出演♪咲乃家（外観）

TOPICS

建設部会が市及び議会に要望書を提出

小野田商工会議所『設立80周年記念大会』

▶ 開催のご案内と事務所業務休業のお知らせ

木曜！ラジオde回覧板 / 6月放送回

▶ 出演：咲乃家 代表 野原 美津恵 さん



～ 小野田商工会議所スローガン ～



商工会議所が未来を変える！

小野田商工会議所

URL <https://www.onoda-cci.or.jp>



■令和8年8月の予定表

1 土	おのだ七夕祭り2026
2 日	※おのだ七夕祭り2026 雨天予備日
3 月	
4 火	
5 水	労務相談会（13時30分~16時30分）
6 木	創業相談会・税務（13時30分~16時30分）
7 金	
8 土	
9 日	
10 月	
11 火	[山の日]
12 水	
13 木	
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	
18 火	創業相談会・税務（13時30分~16時30分）
19 水	創業相談会・経営（9時~17時） 山口東京理科大学連携委員会（14時~）
20 木	創業相談会・法律（14時~） 🎵 木曜！ラジオde回覧板（18時15分~18時55分）
21 金	創業相談会・知財（13時30分~16時30分）
22 土	
23 日	
24 月	記帳・税務相談会（13時~16時）
25 火	事業承継個別相談会（13時30分~16時30分）
26 水	さんようおのだ起業塾1日目（17時45分~20時）
27 木	創業相談会・経営（13時30分~16時30分）
28 金	
29 土	
30 日	
31 月	

今月の表紙



さきのうち 咲乃家

咲乃家は、昨年6月に山陽小野田市大字有帆679-1に開業された、茶道体験型カフェです。人との出会いを大切にされる代表の野原さんがお届けする茶道は、誰もが気軽に楽しむことができる空間となっています。「私なりの思いやりをまた別の誰かへと繋げてほしい」そんな想いを胸に野原さんは今後も咲乃家から茶文化を広げ続けていきます。



『木曜！ラジオde回覧板』 放送のご案内

- ★ 番組名：木曜！ラジオde回覧板
- ★ 放送日時：毎月第3木曜 / 18時15分~18時55分
- ★ 放送内容：会員事業所やイベントのご案内
- ★ M C：松原 淳子 さん

FMスマイルウェーブにて放送中

～番組聴取方法～

①FMラジオで聴く



②お手持ちのパソコンやスマートフォン等で聴く



ぜひ！チェックしてみてください

ラジオ出演者大募集中



開業・起業のきっかけやその想い、自社の事業内容、商品・サービスなどをラジオでPRしてみませんか？



当日は、担当職員と一緒に出演し、サポートします。放送内容は、当所会報「商工おのだ」にも掲載します。ご興味がある方は、まずはお気軽にご相談ください！

<出演の申し込み・お問い合わせ先>

小野田商工会議所 TEL: 0836-84-4111

Mail: host@onoda-cci.or.jp

※各種個別相談会は、原則予約制となります。ご予約は、当所窓口までご連絡ください。小野田商工会議所（☎ 0836-84-4111）

建設部会から市及び議会に要望書を提出

令和8年5月21日(木)、小野田商工会議所 藤田会頭、建設部会 杉山部会長の連名で 山陽小野田市長及び山陽小野田市議会議長に「山陽小野田市並びに山陽小野田市立山口東京理科大学の入札制度の改正等について」の4項目の要望書を提出いたしました。

当所から、建設部会 杉山部会長、日高副部会長が市庁舎を訪れ、古川副市長、高松議長にそれぞれ手渡しました。



当所建設部会 杉山部会長から要望書を受け取る
左／古川副市長⑤ 右／高松議長⑥

小野田労働福祉協議会 理事会・総会を開催

小野田労働福祉協議会（会長：伊藤博【株明防社長】、会員59事業所）では6月23日（火）14時から理事会、14時30分より総会を開催しました。

伊藤会長が議長となり、挨拶に続いて議事に入りました。

第1号議案：令和7年度事業報告、第2号議案：令和7年度決算報告について事務局から説明、監事より監査報告を受け、原案どおり承認されました。

続いて、第3号議案：令和8年度事業計画（案）、第4号議案：令和8年度予算（案）についても承認されました。

また、第5号議案：役員改選では、役員全員の再任が承認されました。



議事終了後、関係官庁からの連絡事項として宇部労働基準監督署 野崎敏彰副署長、宇部公共職業安定所 原田直哉所長、山陽小野田市 高橋雅彦経済部長より、それぞれの現状や制度の説明、支援施策などについて講話をいただきました。

～小野田商工会議所『設立80周年記念大会』開催のご案内～

この度、当所では下記日程において、小野田商工会議所『設立80周年記念大会』を開催いたします。

● 記念式典

日時：令和8年9月28日（月）15時～
場所：山陽小野田市民館文化ホール

● 交流会

日時：令和8年9月28日（月）17時30分～
場所：おのだサンパーク2階大催事場

なお、大会の詳細や参加申込につきましては、別添封書の案内をご確認ください。

事務所業務休業のお知らせ

小野田商工会議所『設立80周年記念大会』の開催に伴い、下記日程の**事務所業務を休業**とさせていただきます。

休業日：9月28日（月）

ご不便をおかけいたしますが、
何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。



木曜！ラジオde回覧板

・FM スマイルウェーブにて放送中！
・毎月第3木曜 18時15分～18時55分



今回の出演者 ～6/18 放送回～

さきのうち
咲乃家

代表 野原 美津恵 さん

ご縁で繋げる～日本の茶文化を新たな世代へ～



咲乃家 代表 野原 美津恵 さんにインタビュー

6月18日放送の「木曜！ラジオde回覧板」は、昨年6月にご自宅で茶道体験型カフェを開業された咲乃家 代表 野原美津恵さんにご出演いただきました。47年会社員として働かれた野原さんが、なぜ茶道という全く異なる道へと歩まれたのでしょうか？今回の放送では、開業の経緯や想い、咲乃家でしか体験できない野原流の茶道体験の魅力についてお聞きました♪

● 形に縛られずに老若男女、気軽に楽しめる茶道体験型カフェ“咲乃家”とは？

屋号は、近所に同じ“野原”の苗字が多く、道路から入って一番手前にある家の嫁、通称「先の家（さきのうち）の嫁さん」と呼ばれていたことが由来で、四季折々の花が咲くようにと願いも込め“咲”の字を当て「**咲乃家**」にしました。咲乃家では枯山水の風景を眺めながら、実際に茶道を体験することができます。コースは、私が点てたお抹茶と主菓子を召し上がってもらう“一服コース”（1,500円）。その後、ご自身で点てたお抹茶と干菓子を召し上がってもらう“二服コース”（2,800円）となっています。一服目のお茶碗は、予約時の声や人数でどんな方かを想像して、私が選ばせてもらっています。二服目は好きなお茶碗をご自身で選ぶことができ、一服目とは別の雰囲気味わえます。また、一から丁寧に教えますので、茶道初心者やお子様でも**気軽に体験でき**、正座が難しい方はテーブル席のご用意もありますので、**安心して楽しむことができる場所**となっています。

● 母の導いた道で辿り着いた私を育む場所

茶道との出会いは、昔、母に「明日から茶道に行きなさい。」と言われ、通い始めたのがきっかけでした。その後、会社員として47年働き、役職定年を迎える頃に新しいことをしたいと思い、茶道をまた一から習い始めました。その頃の稽古は、多忙な日々を送る私にとって、**無になれる自分だけの宝物のような空間**でした。それからの開業への道のりは、知人との何気ない会話から始まっていました。知人のご厚意（テーブル、椅子の作製）で茶室空間が完成したのを機に、商工会議所の支援を受けて咲乃家が誕生しました。開業してからは沢山のお客様と出会い、空間を共有し、お茶碗を挟んで会話を楽しむことで**自分の成長へと繋がる空間**にもなりました。

最初は「まさか自分が茶道でお店を開くとは！」と驚きもありましたが、もともと若い世代に茶文化の素晴らしさを知ってほしいという想いがあったので、これも何かのご縁だと思っています。

● 茶道で繋いでいく“恩送り”の無限ループ

日本の文化で囲まれた茶道は、季節やその時の雰囲気、お抹茶の点て方で味の感じ方が違ってきます。そこも含め、茶道の魅力だと思います。咲乃家は、庭の枯山水の他にも、四季を感じさせる和菓子の提供、床の間を彩る掛け軸や花、茶碗選びなど、多くのお客様に五感で楽しんでもらえる空間作りにもこだわっています。私は「**咲乃家で体感されたおもてなし、私なりの思いやりを、また別の誰かに繋げてほしい。**」そんな想いを胸に今後も茶文化を広げ続けたいと思います。

【予約受付中】

お電話での完全予約制です。
※ご予約は2日前までをお願いします。

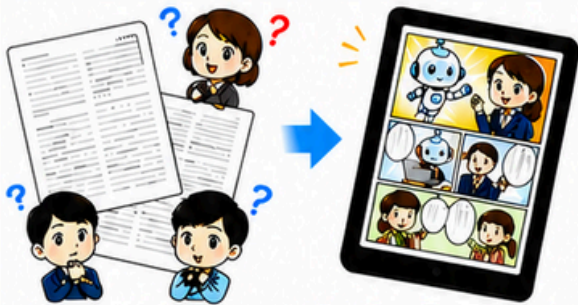
☎ 090-6407-1731

【Instagram 随時更新中】

イベントなど最新情報をお届けします！ @SAKINOUCHI



ビジュアル刷新：文字から「マンガ・アニメ形式」へ



旧会報（文字中心） 新会報（マンガ・アニメ形式）

読む会報から「見る」会報へ。

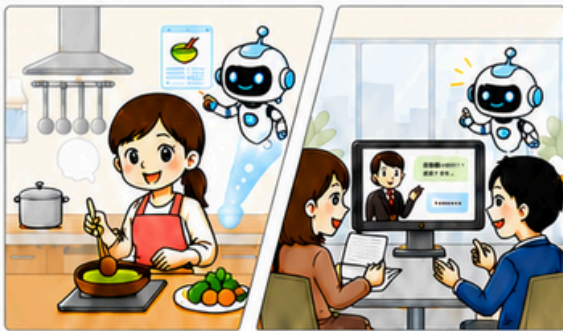


難解なIT用語や長文を避け、ストーリー仕立てのマンガ形式にすることで、誰でも理解度を向上させます。

親しみやすさとインパクトの両立。専門家による構成・監修のもと、ビジネス課題での「あるある」を視覚的に表現します。

新テーマ：AIが隣にいる「当たり前」の日常

テーマ①「AIがある暮らし・会社」



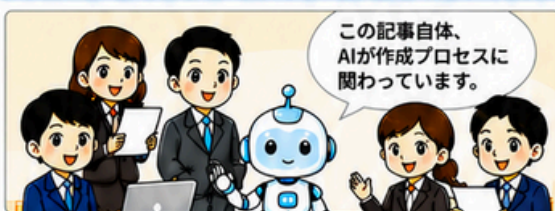
職場だけでなく、家庭料理のレシピ提案や趣味の相談など、生活のあらゆる場面でAI活用法を提案します。

テーマ②「お困り事解決シリーズ」



バックオフィス業務の停滞や人手不足など、事業者が抱える具体的な悩みをAIでどう解消できるかに焦点を当てます。

実践の証明：この記事もAIと一緒に作りました



ICレコーダーの録音を生成AIが分析・構成。委員会自らがAIを使いこなす「伴走者」であることを示します。

具体的なAI活用事例①（タイプ・効率の大幅向上）

顧客からの問い合わせ対応をAIがサポート。



AIチャットボットがFAQや過去の回答をもとに自動応答。オペレーターは必要な問い合わせに集中でき、対応品質と顧客満足度の向上につながります。

具体的なAI活用事例②（タイプ・効率の大幅向上）

5,000枚の紙データを、わずか1時間でデータベース化。



スキャンした大量の書類をAIが読み取り、スプレッドシートへ自動格納。手入力の膨大な時間を削減します。

メールの内容から、スケジュールを自動登録。



AIがメール本文から日時や案件を抽出し、カレンダーへ即座に反映。入力漏れを防ぎます。

電話対応や会議の録音を、瞬時に要約。



音声データをAIがテキスト化し、重要ポイントを整理。議事録作成の手間を最小限に抑えます。

相談窓口：あなたの「第一歩」をサポート



IT・AIなんでも相談会（定期開催）
パソコンの使い方からAIの導入相談まで、専門家が個別に対応します。

Googleフォームでの簡易相談受付。
3項目程度の入力で、いつでも気軽に「お困り事」を送信できる仕組みを整備しています。

－ 事業主のみなさまへ －

従業員の雇用維持のため雇用調整助成金が活用できます

中東情勢による原材料の入手困難や価格高騰等に伴い事業活動を縮小する



従業員の雇用維持のため休業や教育訓練等を実施した場合に、
要件を満たせば従業員に支払った休業手当等に対して
雇用調整助成金による助成が受けられます！



雇用調整助成金の情報は、
右記の二次元コードから
御覧いただけます。



雇用調整助成金サイト

■詳しくは、ハローワーク宇部 ☎0836-31-0164（33＃）にお問い合わせください。

安心 安全 国がつくった

小規模企業者のみなさま

小規模企業共済

経営者のための積み立て式退職金制度



POINT

1

将来の
生活安定資金に

小規模企業者が、引退後の
生活安定資金を積み立てる
制度

POINT

2

無理なく
積み立て

掛金月額は1,000円から
設定でき、途中で掛金の増額・
減額が可能

POINT

3

今の経営の
サポートにも

掛金は全額所得控除、また
共済契約者貸付で事業資金等
の借入れも可能

＼ こんな方が加入できます /

個人事業主・フリーランス

小規模企業等の経営者・役員

個人事業の共同経営者

オンラインで加入申込受け付け中

くわしくはウェブサイトを
ご覧ください。

小規模企業共済

検索



公立大学法人 山陽小野田市立 山口東京理科大学

の研究を紹介します！

アンケートで
ご意見をお聞
かせください



研究・教員
紹介 BOOK
2026-2027



地域課題に応える技術相談サービスについて —技術×アイデア×行動力で生み出す産学連携—

学術・地域共創推進部 学術研究推進課
産学連携コーディネータ 林 智幸

2026年4月より、山口東京理科大学の産学連携コーディネータを務めております、林 智幸です。

着任前は、電子部品メーカーにて約38年間、磁性材料を中心とした研究開発から製品化、量産立ち上げ、さらには事業責任者としての事業運営まで、幅広い業務に携わってきました。研究開発部門では、希土類磁石や光デバイスの開発に従事し、世界初となる製品の量産化を経験しました。その後、経営企画・新規事業部門においては、技術戦略の立案や中期経営計画の策定、新規事業の立ち上げを担当し、技術とビジネスの両面から事業を推進してきました。近年は山陽小野田市の事業所に単身赴任し、二つの製品事業の責任者として、赤字事業の立て直しと収益構造改革に取り組んできました。

現在は、こうした企業の第一線で培った経験を活かし、「大学の研究成果や技術シーズを、企業の皆様にとって実際に使える形につなぐこと」を役割としています。大学の技術というと高度で専門的なものをイメージされがちですが、必ずしも最先端技術である必要はありません。既存の技術や身近な研究成果に、ちょっとしたアイデアや工夫を掛け合わせることで、新たな価値や事業につながる可能性は十分にあります。

山陽小野田市厚狭には、三年寝太郎伝説があります。三年寝太郎は、奇抜な発想とその行動力で誰も成し得なかった大きな仕事を成し遂げました。この物語は、産学連携にも通じるものがあると感じています。技術そのものの大小ではなく、技術にアイデアを加え、さらに一歩踏み出す行動力が、大きな成果を生み出す鍵になると考えています。

「技術課題を相談してみたい」「大学と何かできないか」「構想段階だが意見を聞いてみたい」といったきっかけからでも構いません。企業の皆様が抱える課題やアイデアと一緒に整理し、大学の知見との接点を見いだしながら、次の一歩につなげていきます。産学連携を通じて、規模や分野を問わず、地域企業の皆様と共に動き、考え、形にすることで、大学の技術と双方のアイデアを活かし新たな事業や価値の創出に挑戦していきたいと考えております。どうぞお気軽にご相談ください。

【キーワード】産学連携 学術研究

問合せ先:山陽小野田市立山口東京理科大学 学術研究推進課 Tel:0836-88-4533

「課題が生まれる前に出合う場をつくる地域支援モデル」

今回は、気軽に語り合える交流の場から地域や企業の課題を捉え、解決へつなげる企業支援の事例を紹介します。愛媛県西条市の株式会社西条産業情報支援センター（SICS）は、起業や産業振興、持続可能なまちづくりに向けた挑戦を後押しする地域支援機関です。同社の特徴は、相談を待つだけでなく、地域や企業の小さな変化や兆しを丁寧に拾い上げている点です。そこで見えた課題を、人材、資金、販路、専門家、行政施策へとつなぎ、必要に応じてデジタル活用も選択肢に加えています。

その一つが「うちぬきサロン」です。それは制度上の支援策ではなく、企業、個人事業主、金融機関、行政、支援機関の関係者が集まる産業交流の場です。参加者は肩書に縛られず、地域の担い手として意見を交わせます。そのため、公式な会議では扱いにくい懸念事項や、まだ事業計画には至らない構想案も共有しやすくなります。SICSにとっては、地域や企業の変化を早い段階で把握する機会にもなっています。

当初は中小製造業の経営者が参加者の多くを占めていたため、受発注、人材、設備投資、資金繰りなど、個社の経営課題が主な話題でした。現在ではNPO、スタートアップ、地域活動に関わる人も参加しており、話題は空き家、観光、地域資源の活用、若者の定着など、話題は地域課題へと広がっています。参加者の多様化により、情報発信、顧客接点づくり、情報共有、地域資源を生かした事業づくりなど、デジタル活用が役立つ場面も増えています。

重要なのは、SICSがデジタル化そのものを目的としていないことです。まず背景を聞き取り、誰が困っているのか、何が滞っているのか、誰と組めば前に進めるのかを整理します。その上で、専門家や関係機関と連携し、改善の順序を組み立て、具体的な行動へと移していきます。うちぬきサロンは支援メニューそのものではありませんが、伴走支援につながる前段階の場として機能している点に、SICSの強みがあります。

中小企業にとって大切なのは、課題を社内だけで抱え込まないことです。外部との対話によって、自社だけでは見えにくい可能性や連携先が見えてきます。支援機関にとっても、制度や窓口の手前に、本音や兆しが集まる場を持つ意義は大きいと言えます。SICSの事例は、DXとは単なるデジタル化ではなく、課題を起点に人と資源を結び直し、事業や地域の在り方を変えていく取り組みであることを示しています。

（この事例は筆者取材時のものであり、現在では異なる場合があります）

PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence

シニアマネージャー

大川 真史



◇大川 真史／おおかわ・まさし

大手国内シンクタンク、大手国産ソフトウェア会社などを経て現職。デジタル化、中堅・中小企業に関する情報発信に従事。これまで、デジタル化による新事業・サービス開発支援、中堅・中小企業のデジタル化に関する政策提言などを経験。経済産業省、経団連、経済同友会、日本商工会議所などでの講演やワークショップの企画運営の実績多数。ITコーディネータ。

「お客さんと直接触れ合うことのメリット」

和歌山県の梅の生産地では毎年6月6日を「梅の日」と定めて、さまざまなイベントが催されています。例えば、全国有数の梅の産地であるみなべ町では、この日の学校給食は梅干しを使ったおにぎりが出されています。

この日、梅干しなど梅加工品の製造販売会社が企画した、みなべ町の体験ツアーに参加してきました。梅の実が完熟して、ちょうど収穫期を迎えた畑で収穫体験をしたり、参加者自らが選んだ梅干しでつくったおにぎり弁当を畑に持ち込んで食べたり、冷凍した青梅と氷砂糖で「梅シロップ」づくりに挑戦したりと、盛りだくさんの内容でした。

参加者たちは、車で1時間半ほど離れた大阪市や神戸市などに住み、普段からこの会社の通信販売を定期的に利用しているかなり熱心なファンが中心でした。

梅干しおにぎりをつくる体験では、異なる味わいの梅干しが数種類用意され、普段自分が愛用しているものとは違う種類を試食する機会にもなっていました。また、用意された弁当のおかずは、梅酢を使ったから揚げやアジの南蛮漬けなど、梅をうまく活用した料理の紹介になっています。参加者は梅干しの製造工程や、梅の加工食品である梅エキスの製造現場を見学しながら、梅に関する知識を増やしていました。また、体験終了後に、参加者それぞれが興味を持った商品を、ショップでたくさん購入していたのが印象的でした。

その場所へ足を運ばなければ得られない体験に、参加者は何を求めているのでしょうか。つくり方の現場を知ることで、自分が普段購入している商品の品質を確かめることはもちろん、そこでしか買えない商品や、生産地ならではの価格も期待しているでしょう。また、つくり手と直接触れ合うことで、商品の売買を超えた信頼関係が生まれることもあるでしょう。

生産者側から見れば、普段接することが少ない最終消費者のニーズや生活スタイル、価値観などを知る貴重な機会です。マーケティングの面だけでなく、お客さんと直接触れ合うことで社員のモチベーションや、接客マナーなどが向上するといった、人事教育面の効果にも意味があります。また、ゲストを迎えるに当たって、工場や製造現場をきれいに掃除したり、整頓したりという、生産や運用面での良い結果も期待できます。

一方で、多面的なメリットがあるが故に、あまり欲張り過ぎると、逆にお客さんが求めるものに正対しない内容を盛り込んでしまう恐れもあります。また、内容を充実させたり、準備に手間をかけ過ぎたりすることはコスト要因となり、それなりの参加費を設定しても、かけた時間の割に採算が合わなくなるということもよくあるそうです。

事業者の体験プログラムを数多くプロデュースしている「にっぽん てなrai堂」店主の中村真一郎さんによれば、こうした体験プログラムは、利益目的なのか、顧客との絆づくりなどマーケティング目的なのかをまず明確にすることが重要だということです。その上で、自分たちの価値を最も感じてもらうために、どこを体験として提供するかが鍵だそうです。

地域経済アナリスト／コンサルタント

渡辺 和博



◇渡辺 和博／わたなべ・かずひろ

合同会社ヒナモノ代表。元日経B P総合研究所上席研究員。筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了後、日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌の編集を担当。日経B P総合研究所上席研究員として全国の自治体・商工会議所などでコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援。2025年4月から現職。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経B P社）。NHKラジオ『マイ! あさ』マイ! Bizコーナーでも地域の事業者の取り組みを定期的に紹介している。

さんようおのだ

起業塾

START A BUSINESS SEMINAR

「創業したいけど、何からはじめれば良いのかな?」「開業の時に必要な届出って何があるの?」「お店を知ってもらうにはどうしたらよいの?」「事業計画の書き方を知りたいな。」などなど、山陽小野田市で創業する「夢」の第一歩を踏み出そうとお考えの方や事業を引き継ぐ予定の方を対象に、「さんようおのだ起業塾」を開催します。是非この機会にご受講ください。

基礎編

参加料
無料

本セミナーを受講すると…

特典①

「山陽小野田市
特定創業支援事業」に該当!

「山陽小野田市特定創業支援事業」とは、開業前に経営、財務、人材育成、販路開拓に係る内容を全て満たす支援を計4回以上かつ1か月以上の期間継続して受講された方を「特定創業支援修了者」に認定し、登録免許税の軽減や、融資の利率優遇、補助金の交付など、様々な創業者優遇措置を受けることができるものです。詳細はセミナーにてご説明します。

特典②

「チャレンジショップinおのサン」
に応募できる!

当所では、さんようおのだ起業塾の開催と平行して、「チャレンジショップ事業」を企画しています。対象は、将来山陽小野田市内で創業を希望する方で、本セミナーを受講し作成した事業計画をプレゼンし、審査会で承認された方は、おのサンパーク内の店舗スペースを一定期間、営業研修やテストマーケティングの場として活用できます。ぜひこの機会にチャレンジしてみてください。

会場

Aスクエア2F 会議室1A・1B

(〒756-0824 山陽小野田市中中央二丁目3番1号)

定員

会場/20名

(オンライン受講(zoom)も可能)

夢の実現を
応援します!

全4回

受講は1回
からでもOK!

オンライン
受講可能
(zoom)

- ①回目 8/26水
 - ②回目 9/ 2水
 - ③回目 9/ 8火
 - ④回目 9/15火
- 4回とも
17:45~20:00

事業名 令和8年度
山陽小野田市さんようおのだ起業塾委託事業

お問い合わせ 小野田商工会議所 (Aスクエア2F)
〒756-0824 山陽小野田市中中央二丁目3番1号
TEL 0836-84-4111 Fax 0836-84-4180
E-mail host@onoda-cci.or.jp

主催 小野田商工会議所、山陽小野田市

共催 山陽商工会議所

詳細はHPへ



小野田商工会議所

〒756-0824 山口県山陽小野田市中中央二丁目3番1号 (Aスクエア 2階)

TEL (0836) 84 - 4111 URL <https://www.onoda-cci.or.jp>